

フクシマガリレイ株式会社

証券コード：6420

**FINE!**

Fresh Information & Next Efforts

株主・投資家の皆さまへ

第74期中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

**GALILEI**

Be cool, Be alive.

## 今期の業績について

フードサービス販売\*では、外食産業の人手不足問題に省人化で貢献するプラストチラーやドゥコンディショナー等高単価商品の売上が復調したことに加え、当連結会計年度よりグループ入りし連結子会社となった日本洗浄機株式会社の外食産業向けの食器洗浄機を中心とした売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は144億8千5百万円となりました。

医療・理化学製品販売では、薬用冷蔵庫の調剤薬局・ドラッグストア向け販売は引き続き堅調に推移しているものの、病院・クリニックや理化学市場向けの販売が減少したことなどにより、売上高は5億6千7百万円となりました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、流通産業において主に省エネ改装需要が引き続き堅調に推移し、スーパーマーケットやドラッグストア向けの販売が増加しました。また、コンビニエンスストア向けの自然冷媒を採用したショーケースの販売も引き続き堅調に推移したため、売上高は258億5千9百万円となりました。

大型食品加工機械販売では、エネルギーコストや原材料価格の高騰の影響を受け、設備投資について慎重な傾向は継続しているものの、人手不足で自動化や省人化等を背景に一部の食品メーカーの投資意欲が回復基調となりトンネルフリーザー及びラインシステムやコンベアの売上が堅調に推移したため、売上高は26億1千9百万円となりました。

大型パネル冷蔵設備販売では、物流の2024年問題を背景に低温物流拠点の需要や主要都市を中心とした冷蔵倉庫の満床・老朽化等により物流センター・冷蔵倉庫の建設需要が継続し、スーパーマーケットのプロセスセンターをはじめとした食品工場の需要が復調したことなどにより、売上高は63億1千7百万円となりました。

小型パネル冷蔵設備販売では、スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は38億4百万円となりました。

サービス販売では、外食産業向けの冷凍冷蔵庫等のメンテナンスや、スーパーマーケットやコンビニエンスストア向けの冷凍冷蔵ショーケー

スのメンテナンス及び保守契約の売上、トンネルフリーザーのメンテナンスの売上が増加したため、売上高は73億5千7百万円となりました。

製造部門においては、原材料価格の高騰や海外からの部品購入における為替の影響は依然として続いておりますが、影響額を軽減するため、さらなる生産性の向上や代替部材使用等に取り組んでおります。2024年3月に滋賀県に冷凍冷蔵ショーケースの新工場建設を発表しております通り、次世代の高付加価値製品の開発や生産性向上を図り、冷凍冷蔵ショーケースのさらなるシェア伸長に対応できる生産体制を構築してまいります。加えて、2024年9月に主に業務用冷蔵庫・製氷機を製造する岡山工場の新配送センターの建設を発表しております。新配送センターでは、現配送センターの1.5倍にあたる6,000台以上へ製品収容能力を高め、入出庫能力も2倍以上に高めることで、これまで以上にお客様からの多様なニーズにお応えしてまいります。

ガリレイグループでは、サステナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、2050年までに食品の生産からテーブルに並ぶまで温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることに取り組んでおります。また、「グリーン冷媒への転換」「環境性能の高い製品を開発・提供」「冷媒ガス漏洩防止」のアクションを戦略的に推進し、バリューチェーン全体のCO2排出量削減に取り組むことで、環境先進企業として価値を提供してまいります。ノンフロン冷媒R1234yf(GWP: 1)仕様へとモデルチェンジを実施したタテ型・ヨコ型業務用冷凍冷蔵庫及び小型タイプのキューブアイス製氷機や、自然冷媒採用大型コンデensingユニット「NOBRAC」、ノンフロン冷媒仕様機種をバリエーションに追加したメディカルフリーザーのほか、その他製品についても計画的に地球温暖化係数の低い冷媒に切り替えております。加えて、冷媒ガス漏洩による地球温暖化ゼロを目指し、当初想定していた2025年から1年前倒しし、2024年4月1日よりグリーン冷媒R1234yf採用の冷凍冷蔵庫と製氷機において、冷媒ガス漏洩による故障を10年間保証する取り組みを開始しております。

\*販売区分を「冷凍冷蔵庫販売」から「フードサービス販売」に名称変更し日本洗浄機株式会社の数値を合算して記載

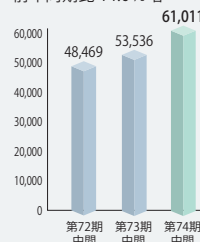


## 財務ハイライト

第74期中間連結決算(単位:百万円)

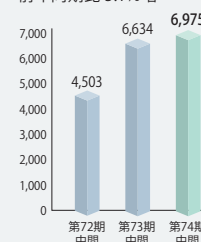
売上高  
61,011

前年同期比 14.0%増



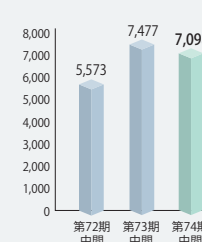
営業利益  
6,975

前年同期比 5.1%増



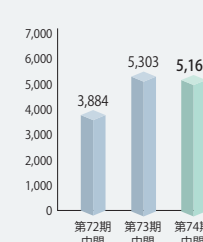
経常利益  
7,098

前年同期比 5.1%減

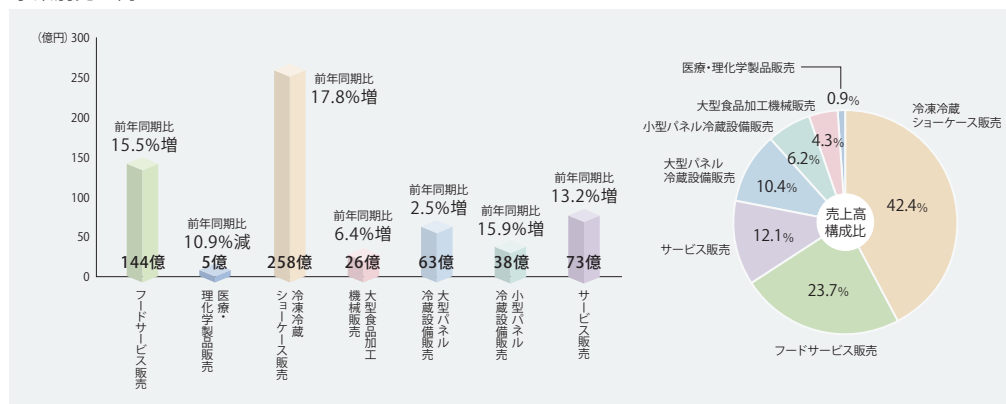


親会社株主に帰属する中間純利益  
5,166

前年同期比 2.6%減



## 事業別売上高



## 日本洗浄機株式会社が ガリレイグループの一員に

2024年4月より、日本洗浄機株式会社が  
ガリレイグループの一員となりました。  
厨房業界におけるノウハウや経営資源を相互に活用し、  
グループの事業領域・事業規模の拡大、  
企業価値の向上に繋げていきます。



### 日本洗浄機について



日本洗浄機株式会社  
代表取締役社長 中川 幹夫

1969年の創業以来、外食チェーン各社のご要望に応えられるよう、食器洗浄機などオペレーションを効率化させる製品を開発してきました。洗浄品質に加え節水・省エネに力を入れているほか、幅広い業種・業態に対応するため自動ゆで麺機、自動ぎょうざ焼き機など、調理品質の向上と省力・省人化を図る自動調理機器を提供。全国の外食チェーン、大量調理施設から小規模個人店まで、幅広いニーズに応じています。

今後は既存の外食産業のみならず、スーパーマーケットへの販路拡大や、ナショナル外食チェーンの海外進出に対し、グループが有するアジアでのネットワークを活用しお客様の役に立てるよう努めていきます。

## タカハシガリレイが 新型スパイラルフリーザーを開発

トンネルフリーザーを専門で取り扱う  
グループ会社・タカハシガリレイ株式会社が、  
ラインナップ拡充の一貫として  
新型スパイラルフリーザーを開発しました。



### TOPICS

#### 社会問題に貢献する トンネルフリーザー



2023年8月に始まったALPS処理水の海洋放出によって、中国は日本の水産物の輸入を禁止しました。そのため、中国への輸出量が多かった水産業界は大きな打撃を受け、特にホタテは価格下落や販路縮小といった深刻な影響が懸念されました。この問題に着目し、ホタテの冷凍に特化した新たな凍結システムを考案。割れが発生しにくい凍結方法と徹底した衛生管理、省エネ性を兼ね備えたトンネルフリーザーを北海道・青森地区にお納めしました。行き場に困ったホタテを安全・安心・高品質に凍結することで国内消費の活性化だけでなく、北米をはじめとした海外展開や輸出強化に貢献しています。

#### 主な特長

##### 省スペース

- コンパクトな構造で従来機比40%以上の省スペースを実現

##### 省エネ

- 革新的な構造により高効率な冷却を実現
- 製品の安定稼働による生産エラーの軽減

##### 時短洗浄

- 洗浄性にすぐれたシンプルな構造
- 自動洗浄機能の追加で更なる時短・省力化

## ブラストチラー／ショックフリーザー80型 パススルータイプを発売

作業効率向上  
質の高い衛生管理を実現する  
大型のパススルータイプ

ブラストチラー／ショックフリーザーとは

加熱調理後の粗熱取りや急速冷却・急速凍結をするための機器です。急速に冷却することにより、おいさと香りを封じ込め、作り立ての状態をキープします。



ブラストチラー／ショックフリーザー80型  
パススルータイプ  
**QXF-080SFPS3**

### 主な特長

#### カート2台収容

パススルータイプでスペースを有効活用しながら、カート2台(1/1 ホテルパン80枚)分を収容可能。多品種・小ロットに最適です。

#### 高い冷却性能

冷気の循環を改良し、吹き出し口に独自の構造を採用することで、高い冷却性能を発揮。

#### 安全性向上

扉の内側に安全バーを設置。蓄光性なので、万一庫内に閉じ込められても安全バーを認知可能。

#### 環境への配慮

冷媒は地球温暖化係数の低いR448A(GWP:1390)を採用。

※GWP数値は令和5年経済産業省・環境省告示第3号より引用

#### 省スペース

同製品40型パススルータイプ(カート1台収納)2台と比べて、設置スペースを8%削減。

## Case Study

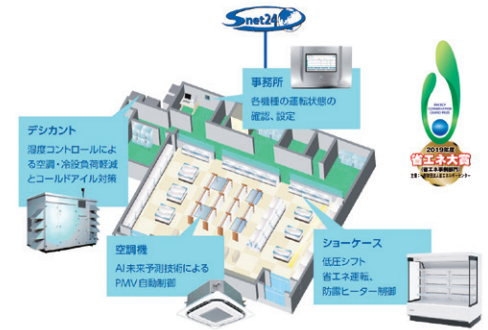
Case  
01

北陸地方・信州を中心にスーパーマーケットを展開する(株)原信様

### スーパーマーケット初のZEB化をめざす 原信白根店に、ガリレイエアテックシステムを納入

北陸地方・信州を中心にスーパーマーケット約70店を展開する株式会社原信様。2023年11月にリニューアルオープンした白根店の改装にあたり、スーパーマーケット業界初の「ZEB」認証取得のためにガリレイエアテックシステムを納入しました。

「ZEB」とは、消費する年間の一次エネルギーの消費をゼロ(100%削減)にすることをめざした建物。その実現のため、店内の温湿度を快適な環境に維持しつつ、省エネ化を図るガリレイエアテックシステムが活用されています。



### 〈ガリレイエアテックシステムの主な特長〉

#### AI自動制御

冷凍冷蔵機器・エアコン・換気・デシカント等をAI自動制御し、トータルエネルギーの最小化を行います。

#### 省エネ性

夏場の従来店より20%以上省エネを実現。  
※売場面積2,000㎡規模のスーパーマーケットの実績

#### PMV制御

快適性評価指標(PMV<sup>®</sup>)に基づく空調制御による環境最適化。  
※人間が感じる温冷感の指標

#### 導入経済性

3～5年以内に投資回収が可能。  
※電気代削減・冷凍機馬力ダウン・清掃費用削減など

#### 店内環境改善

デシカントによる湿度コントロールで空調・冷凍冷蔵設備負荷軽減とコールドアイル<sup>®</sup>対策を実現。結露対策やカビ対策にも有効。  
※ショーケースの前面の足元に冷気だまりが出来る現象

Case  
02

宮崎県内最大級規模の水産仲卸会社(有)カネ政商店様

食安全管理認証規格「JFS-B」取得に適應した  
鮮魚加工場の設計・施工を担当

宮崎県内最大級規模の水産仲卸会社である有限会社カネ政商店様。新たなマーケットとして海外進出を見据えるにあたり、食品の安全管理を認証する規格「JFS-B」取得に対応した鮮魚加工場の設計・施工を担当しました。

場内はHACCPに準拠した動線で交差汚染を防ぐ設計になっているほか、扉は手かざしセンサーで開閉が可能。壁面と床の境界にはアール巾木が採用されており、細部まで衛生管理が徹底されています。

また、室内の間仕切パネルはガリレイパネルクリエイトの製品が使用されているほか、作業場の各シンクで電解次亜水生成装置 FEクリーン水が使えるよう配管にも工夫が凝らされています。



鮮魚加工場 施設内

ご担当者様からは「検討段階から、我々だけでは考えが及ばないような細かい点に対してもアドバイスをいただいた点が発注の決め手になりました。」と社社の対応力を高く評価いただきました。また、魚を処理する際にFEクリーン水を使うと、水道水を使った場合と比べて菌の発生数を抑えられることも実証されており、備品の除菌など幅広い用途でご活用いただいています。



カネ政商店様 社屋

Case  
03

宮崎牛のと畜・加工、出荷を行う(株)SEミート宮崎様

ハラール向け牛肉専門加工場の  
設計・施工を担当

宮崎県内の畜産農家4社の協力によって設立された牛肉専門加工会社・株式会社SEミート様。と畜から加工、出荷までワンストップで対応可能な加工場の設計・施工を担当しました。

飼料高騰などの影響で危機に立たされている畜産農家の現状を打破すべく、新たなターゲットとして海外輸出をめざす中で、イスラム教徒(ムスリム)でも摂食できる「ハラール(=イスラム法で「合法なもの」の意)」対応のと畜場をメインコンセプトとして掲げられました。



冷凍室 施設内

と畜された直後の枝肉は0℃で冷気循環を良くするためお客様と一緒に設計したエア搬送ファンの部屋で冷却され、脱骨カット前にはプラス2℃の冷蔵庫で管理、脱骨カット後の牛肉はマイナス40℃で急速冷凍され、翌日以降はマイナス20℃の冷凍室で管理されるなど、工程ごとに異なる温度帯での室温コントロールを徹底。また、高さ11mにも及ぶ冷凍倉庫には自動搬送レーンが採用されており、施工時は断熱パネルと倉庫のラックを交互に組む流れで進行。現場の施工管理担当者と、設計を担当したエンジニアリング事業部が事前に協議を重ねたことで、想定していたスケジュール通りにプロジェクトを進らせることができました。

営業担当者はハラール認証の手続きに関しても調査を実施。設計・施工以外の面でも支援を行ったことで、お客様から高い評価をいただくことができました。



SEミート様 社屋

## 01 FOOMA JAPAN 2024 国際食品工業展に出展しました

「GALILEI PLUS〜『冷やす』で創る未来〜」をテーマに、冷凍プレゼンテーションや自動化ロボット、工場環境改善など、グループ会社とのシナジーによって生まれる改善提案を数多く展示しました。

「Dramatic Future 2050」実現に向けてグリーン冷媒への転換を進めており、CO<sub>2</sub>冷凍システム【NOBRAC（ノブラック）】や、微燃性ノンフロン冷媒R1234yfを業界で初めて採用した業務用冷凍冷蔵庫・製氷機を実機展示しました。



開催概要

日程：2024年6月4日(火)～7日(金)  
会場：東京ビッグサイト

## 02 第24回日経エデュケーションチャレンジfor SDGsに参加しました

高校生を対象に、仕事の楽しさや情熱を伝えるキャリア教育プログラム「第24回日経エデュケーションチャレンジ for SDGs(主催 日本経済新聞社)」に参加しました。

「故障を予測せよ!ー現場でつかんだ“働く目的”ー」をテーマに、講師の経験談を交えながら冷蔵庫やショーケースの基本的な仕組みやSDGsへの貢献について説明。業務用冷蔵庫の冷媒転換が地球温暖化防止につながっていることを紹介しました。



開催概要

日程：2024年8月6日(火)・7日(水)  
会場：慶應義塾大学三田キャンパス

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日現在)	当中間連結 会計期間 (2024年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	92,805	90,246
固定資産	37,727	43,805
有形固定資産	19,063	24,630
無形固定資産	561	620
投資その他の資産	18,102	18,554
<b>資産合計</b>	<b>130,532</b>	<b>134,051</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	35,347	35,098
固定負債	2,357	2,342
<b>負債合計</b>	<b>37,705</b>	<b>37,440</b>

<b>純資産の部</b>		
株主資本	85,728	88,903
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	3,576	3,657
利益剰余金	83,191	86,256
自己株式	△3,799	△3,769
その他の包括利益累計額	6,986	6,998
その他有価証券評価差額金	6,449	6,204
為替換算調整勘定	450	750
退職給付に係る調整累計額	87	43
非支配株主持分	112	708
<b>純資産合計</b>	<b>92,826</b>	<b>96,610</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>130,532</b>	<b>134,051</b>

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	当中間連結 会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
売上高	53,536	61,011
売上原価	38,584	44,523
売上総利益	14,951	16,487
販売費及び一般管理費	8,317	9,512
営業利益	6,634	6,975
営業外収益	935	428
営業外費用	92	305
経常利益	7,477	7,098
税金等調整前中間純利益	7,574	7,298
法人税、住民税及び事業税	2,334	2,245
法人税等調整額	△80	△135
法人税等合計	2,254	2,109
非支配株主に帰属する中間純利益	17	21
親会社株主に帰属する中間純利益	5,303	5,166

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	当中間連結 会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	7,066	4,968
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,719	△6,300
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,293	△2,103
現金及び 現金同等物に係る換算差額	42	158
現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	3,095	△3,277
現金及び 現金同等物の期首残高	46,182	54,026
現金及び 現金同等物の中間期末残高	49,277	50,748

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# I n f o r m a t i o n

## 会社概要

商号	フクシマガリレイ株式会社
本社	〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2丁目6-18
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結：2,524名 単体：1,938名（準社員含む） 2024年3月現在

## 事業所一覧

主要拠点	本社・関西支社(大阪)、東日本支社(東京浅草橋・東京日本橋) 中部支社(名古屋)、西日本支社(福岡)
支店 営業所 サービスセンター	北海道(札幌)、旭川、函館、帯広、釧路、北東北(盛岡)、青森、秋田、南東北(仙台)、郡山、山形、千葉、柏、北関東(つくば)、水戸、宇都宮、高崎、さいたま、南東京、北東京、西東京、甲府、横浜、厚木、信越(新潟)、長岡、長野、松本、静岡、沼津、浜松、豊橋、岐阜、三重、富山、北陸(金沢)、福井、京都、福知山、滋賀、南大阪、奈良、和歌山、神戸、西宮、姫路、岡山、鳥取、広島、福山、松江、山口、四国(高松)、徳島、高知、松山、北九州、久留米、佐賀、東九州(大分)、宮崎、都城、西南九州(熊本)、鹿児島、沖縄、石垣、宮古島
サービスセンター	関東(船橋)、関西(大阪)
工場	滋賀(水口)、岡山

## グループ会社一覧

タカハシガリレイ株式会社、ガリレイパネルクリエイト株式会社  
ショウケンガリレイ株式会社、フクシマトレーディング株式会社、  
日本洗淨機株式会社  
福島国際(香港)有限公司、ガリレイ(タイランド)株式会社  
フクシマガリレイシンガポール株式会社、台湾福島国際股份有限公司  
フクシマガリレイマレーシア株式会社、福島嘉利雷冷機(上海)有限公司  
フクシマガリレイベトナム有限公司、フクシマガリレイタイランド株式会社  
フクシマガリレイフィリピン株式会社、フクシマガリレイインドネシア株式会社  
フクシマガリレイミャンマー株式会社、フクシマガリレイカンボジア株式会社

## 役員

代表取締役会長	福島 裕	社外取締役(常勤監査等委員)	竹内 博史
代表取締役社長執行役員	福島 豪	取締役(常勤監査等委員)	堀之内 健士
取締役副会長執行役員	福島 亮	社外取締役(監査等委員)	藤川 隆夫
取締役常務執行役員	片山 充	社外取締役(監査等委員)	吉年 慶一
取締役常務執行役員	長尾 健二	社外取締役(監査等委員)	梨岡 英理子
取締役上級執行役員	水谷 浩三		

## 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html">https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人 および 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。

フクシマガリレイのホームページを、ぜひご覧ください!

[www.galilei.co.jp](http://www.galilei.co.jp)



**GALILEI**

Be cool, Be alive.



(2024.11) F